

2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年2月6日

上場会社名 三菱ロジスネクスト株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7105 URL <https://www.logisnext.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 御子神 隆
 問合せ先責任者 (役職名) 財務本部長 (氏名) 宇野 隆俊 TEL 075-951-7171
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	334,633	1.3	6,789	△23.6	6,500	△31.0	3,034	△39.9
2019年3月期第3四半期	330,244	5.1	8,881	96.4	9,416	116.8	5,047	916.6

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,465百万円 (△69.6%) 2019年3月期第3四半期 4,814百万円 (△16.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	28.50	28.39
2019年3月期第3四半期	47.41	47.25

(参考) のれん等償却前営業利益 2020年3月期第3四半期 14,049百万円 (△9.4%) 2019年3月期第3四半期 15,503百万円 (27.0%)

当社は、経営上の重要な指標として、のれん等償却前営業利益を用いております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	381,715	68,366	17.2	617.91
2019年3月期	367,662	68,503	18.0	619.85

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 65,809百万円 2019年3月期 66,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	—	—	13.00	13.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	450,000	0.4	9,200	△30.1	8,700	△36.6	4,200	△40.7	39.44

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式及びA種種類株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	106,510,013株	2019年3月期	108,911,013株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	7,102株	2019年3月期	2,427,102株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	106,494,911株	2019年3月期3Q	106,453,657株

（注）期末発行済株式数及び期中平均株式数の算定には、A種種類株式を普通株式と同等の株式として含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報)	9
3. その他	10
参考情報	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、一言で言えば非常に厳しい形での推移となりました。米中貿易摩擦は依然、収まりを見せず、英国のBrexitは確実となる中、中東を中心とした地政学的脅威が現実味を帯びてくるなど不安がさらに増大する結果となりました。各国は金融緩和を進めるなどの対策を講じるものの、世界的な製造業の停滞は収まりを見せず、結果としてシステム投資以外への設備投資が大きく抑制される形となりました。一方、日本経済の動向をみると、各種指標は依然堅調さを示しているものの、製造業の停滞による投資抑制は顕著となっており、停滞の様相が明確となっています。これらの状況から物流機器業界にとっては全世界的に強い向かい風の状況にあるといわざるを得ず、今後の市場動向への不安が増大しています。

[参考：地域別フォークリフト市場 受注／出荷統計]

	受注			
	2019年7月～9月		2019年10月～12月	
	台数(千台)	対前年同期比	台数(千台)	対前年同期比
日本	22	+0.8%	21	△10.1%
米州	75	+1.2%	87	+0.9%
欧州 (注) 1	120	△7.6%	135	△2.9%
中国 (注) 2	112	+3.4%	124	+27.0%
アジア (注) 3	25	△13.2%	27	△5.6%
計	354	△2.4%	394	+5.1%

	出荷			
	2019年7月～9月		2019年10月～12月	
	台数(千台)	対前年同期比	台数(千台)	対前年同期比
日本	25	+10.3%	18	△26.3%
米州	79	+3.8%	77	△2.6%
欧州 (注) 1	121	△5.5%	130	△12.4%
中国 (注) 2	109	△0.1%	115	+17.9%
アジア (注) 3	24	△14.2%	25	△16.8%
計	358	△1.7%	365	△3.8%

出典：World Industrial Truck Statistics (WITS)

(注) 1. CIS (Commonwealth of Independent States) 及び中東含む

2. 香港含む

3. オセアニア含む

当第3四半期連結累計期間における連結売上高は、3,346億3千3百万円（前年同期比1.3%増加）となりました。利益面につきましては、営業利益は米州及び中国地域の減益が影響し、67億8千9百万円（前年同期比23.6%減少）、経常利益は65億円（前年同期比31.0%減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は30億3千4百万円（前年同期比39.9%減少）となりました。

なお、のれん償却等の影響を除くと、営業利益は140億4千9百万円（前年同期比9.4%減少）となり、営業利益率は4.2%（前年同期比0.5ポイント減少）となっております。

また、2019年7月1日にその全株式を取得したEquipment Depot, Inc.（以下、「EQD社」）については、決算日を12月31日から3月31日に変更したことに伴い、当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結損益計算書に2019年7月1日から2019年12月31日までの6ヶ月間の業績が含まれております。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

〔国内事業〕

国内事業は、売上高については、海外市場の停滞により輸出が減少した影響があったものの、ほぼ前年同期比並みの1,323億6千7百万円（前年同期比1.6%減少）となりました。セグメント利益につきましては、セグメント間の内部売上高の減少、経費の増加等により、15億5千3百万円（前年同期比51.0%減少）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は50億9千万円（同24.0%減少）となっております。

〔海外事業〕

海外事業は、米州のEQD社の新規連結等により、売上高は2,022億6千6百万円（前年同期比3.3%増加）となりました。セグメント利益につきましては、経費の増加、EQD社取得に伴う関連費用の発生及びのれん等償却費の増加もあり、52億3千5百万円（前年同期比8.3%減少）となりました。

なお、のれん等償却の影響を除くと、セグメント利益は89億5千8百万円（同1.7%増加）となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は3,817億1千5百万円となり、前連結会計年度末より140億5千2百万円増加しました。流動資産は、売掛金の減少等により44億9千8百万円減少し、固定資産は、EQD社の新規連結等により185億5千万円増加しました。負債合計は3,133億4千8百万円となり、前連結会計年度末より141億8千9百万円増加しました。主な要因は、借入金の増加等によるものであります。

また、純資産につきましては、新株予約権及び非支配株主持分を除くと658億9百万円となり、前連結会計年度末より1億9千4百万円減少しました。主な要因は、利益剰余金の増加があったものの為替換算調整勘定の減少等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績および当社グループを取り巻く市場環境を踏まえ、連結売上高4,500億円、営業利益92億円、経常利益87億円、親会社株主に帰属する当期純利益42億円に修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,273	18,005
受取手形及び売掛金	77,863	68,237
電子記録債権	1,953	2,165
商品及び製品	33,453	38,776
仕掛品	9,187	8,391
原材料及び貯蔵品	20,522	16,897
その他	40,229	38,779
貸倒引当金	△1,423	△693
流動資産合計	195,059	190,561
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	20,150	19,599
機械装置及び運搬具(純額)	36,143	48,930
土地	22,321	22,151
その他(純額)	5,965	12,159
有形固定資産合計	84,581	102,840
無形固定資産		
のれん	50,371	49,347
その他	17,650	22,251
無形固定資産合計	68,022	71,598
投資その他の資産		
投資有価証券	8,863	6,637
その他	11,384	10,141
貸倒引当金	△249	△64
投資その他の資産合計	19,999	16,714
固定資産合計	172,602	191,153
資産合計	367,662	381,715

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	45,572	39,365
電子記録債務	25,240	24,959
短期借入金	41,125	46,642
未払法人税等	2,030	1,079
賞与引当金	4,564	2,290
役員賞与引当金	72	60
製品保証引当金	4,965	4,643
関係会社整理損失引当金	202	—
その他	29,721	32,055
流動負債合計	153,495	151,096
固定負債		
長期借入金	122,783	132,251
製品保証引当金	750	803
役員退職慰労引当金	11	6
退職給付に係る負債	15,722	16,240
その他	6,394	12,949
固定負債合計	145,663	162,251
負債合計	299,158	313,348
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,894	4,898
資本剰余金	35,842	35,888
利益剰余金	21,456	23,075
自己株式	△2	△2
株主資本合計	62,191	63,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,586	2,101
為替換算調整勘定	1,913	399
退職給付に係る調整累計額	△687	△552
その他の包括利益累計額合計	3,812	1,948
新株予約権	168	231
非支配株主持分	2,330	2,325
純資産合計	68,503	68,366
負債純資産合計	367,662	381,715

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	330,244	334,633
売上原価	253,044	255,078
売上総利益	77,200	79,554
販売費及び一般管理費	68,319	72,765
営業利益	8,881	6,789
営業外収益		
受取利息	680	633
受取配当金	124	202
持分法による投資利益	1	—
為替差益	300	—
その他	403	463
営業外収益合計	1,509	1,299
営業外費用		
支払利息	900	1,275
持分法による投資損失	—	143
為替差損	—	64
その他	73	102
営業外費用合計	973	1,587
経常利益	9,416	6,500
特別利益		
固定資産売却益	150	171
投資有価証券売却益	6	837
関係会社株式売却益	—	871
事業譲渡益	—	66
受取保険金	143	—
その他	10	—
特別利益合計	311	1,947
特別損失		
固定資産処分損	136	102
減損損失	184	533
投資有価証券売却損	—	11
投資有価証券評価損	62	—
事業構造改善費用	174	—
災害による損失	176	—
特別損失合計	733	647
税金等調整前四半期純利益	8,994	7,800
法人税、住民税及び事業税	3,999	3,308
法人税等調整額	△289	1,191
法人税等合計	3,709	4,500
四半期純利益	5,284	3,300
非支配株主に帰属する四半期純利益	237	265
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,047	3,034

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	5,284	3,300
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△973	△483
為替換算調整勘定	1,025	△1,491
退職給付に係る調整額	△531	136
持分法適用会社に対する持分相当額	9	3
その他の包括利益合計	△470	△1,834
四半期包括利益	4,814	1,465
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,524	1,165
非支配株主に係る四半期包括利益	289	300

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用する在外子会社について、「リース」(IFRS第16号 2016年1月13日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における連結貸借対照表は、有形固定資産のその他が2,185百万円、流動負債のその他が832百万円、固定負債のその他が1,486百万円増加しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	134,502	195,742	330,244	—	330,244
セグメント間の内部売上高 又は振替高	35,739	1,400	37,139	(37,139)	—
計	170,241	197,142	367,384	(37,139)	330,244
セグメント利益	3,169	5,711	8,881	—	8,881

- (注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「国内事業」セグメントにおいて、土地の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては7百万円であります。

「海外事業」セグメントにおいて、土地使用権の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては177百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	国内事業	海外事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	132,367	202,266	334,633	—	334,633
セグメント間の内部売上高 又は振替高	28,807	1,866	30,673	(30,673)	—
計	161,174	204,132	365,307	(30,673)	334,633
セグメント利益	1,553	5,235	6,789	—	6,789

- (注) 1. セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。
2. セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「海外事業」セグメントにおいて、のれんの減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては533百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な該当事項はありません。

3. その他

2020年3月期 第3四半期決算 参考資料<連結>

1. 決算ハイライト

(単位: 億円)

	2018年度					2019年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
売上高	1,065.0	1,089.9	1,147.4	1,181.3	4,483.8	1,050.4	1,020.4	1,275.4		3,346.3
営業利益<のれん等償却前> (営業利益率)	37.2 3.5%	50.7 4.7%	67.0 5.8%	64.7 5.5%	219.8 4.9%	45.4 4.3%	48.2 4.7%	46.7 3.7%		140.4 4.2%
のれん等償却	▲ 21.9	▲ 22.1	▲ 22.1	▲ 22.0	▲ 88.2	▲ 21.9	▲ 20.8	▲ 29.8		▲ 72.6
営業利益<のれん等償却後> (営業利益率)	15.2 1.4%	28.6 2.6%	44.9 3.9%	42.7 3.6%	131.5 2.9%	23.5 2.2%	27.3 2.7%	16.9 1.3%		67.8 2.0%
経常利益 (経常利益率)	19.1 1.8%	32.2 3.0%	42.7 3.7%	42.9 3.6%	137.1 3.1%	23.8 2.3%	24.0 2.4%	17.0 1.3%		65.0 1.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	9.7 0.9%	15.6 1.4%	25.0 2.2%	20.3 1.7%	70.7 1.6%	6.0 0.6%	14.9 1.5%	9.3 0.7%		30.3 0.9%

為替レート

(単位: 円)

USD	109.07	110.26	111.14	110.91		109.90	108.63	108.67	
EUR	130.06	129.85	129.49	128.41		123.49	121.42	121.05	

2. セグメント情報

(単位: 億円)

	2018年度					2019年度					
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計	
売上高	国内事業	424.3	440.9	479.7	490.4	1,835.5	422.5	466.9	434.1		1,323.6
	海外事業	640.6	649.0	667.6	690.8	2,648.3	627.9	553.4	841.2		2,022.6
営業利益	国内事業	17.3	16.3	33.3	25.9	92.8	12.9	24.0	13.8		50.9
	海外事業	19.9	34.4	33.6	38.8	126.9	32.5	24.1	32.8		89.5

※営業利益はのれん等償却前営業利益

地域別売上高

(単位: 億円)

地域	2018年度					2019年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
日本	424.3	440.9	479.7	490.4	1,835.5	422.5	466.9	434.1		1,323.6
米州	338.7	368.8	356.0	389.0	1,452.7	333.3	302.8	567.5		1,203.7
欧州	201.8	181.1	205.9	208.0	797.0	209.5	172.8	191.3		573.6
アジア・中国	100.0	99.0	105.6	93.7	398.4	84.9	77.8	82.3		245.2
計	1,065.0	1,089.9	1,147.4	1,181.3	4,483.8	1,050.4	1,020.4	1,275.4		3,346.3

3. フォークリフト販売台数

(単位: 千台)

	2018年度					2019年度				
	1Q	2Q	3Q	4Q	計	1Q	2Q	3Q	4Q	計
国内	8	7	7	8	30	7	7	7		22
海外	23	21	21	21	86	20	18	19		56
合計	30	28	29	29	116	28	25	26		78